



Creative Application A06

# 美術思想史1: 観察の変遷 - 表現者の思考

2026年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

# 受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます。答えのない議論があります
- ・ 前半：本日のテーマ紹介と座学
- ・ 後半：テーマを深める談義・質問・考察
- ・ 気になることをメモをしながら受講してください

# 資料の見方

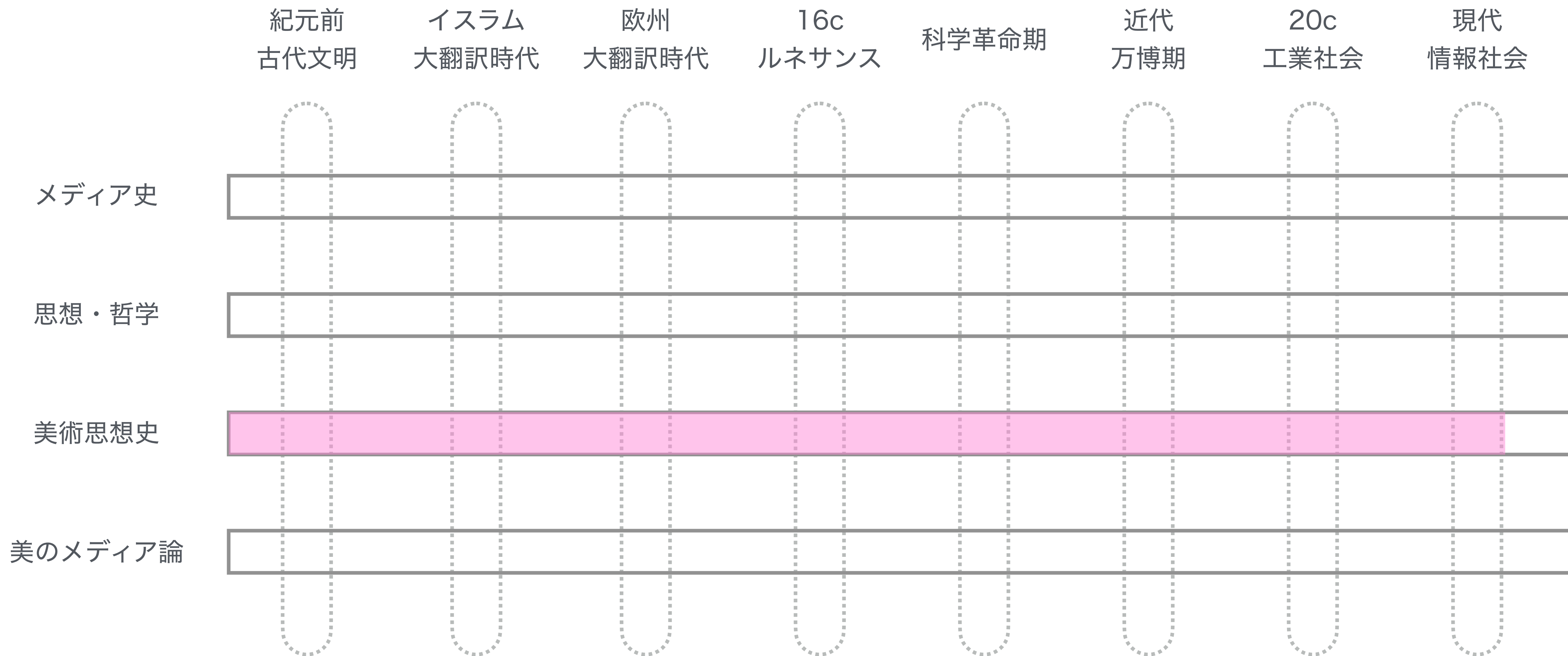
テーマに沿った項目  
(座学で説明します)

左の内容に関連した  
補足キーワード  
(調べ物に役立ててください)

# 本日のテーマ

- ▶ **思考は知覚の捉え方を変え、表現を変える**

# 今回の領域



# 表現のメディア化と知覚・観察の変遷

- ▶ **表現 = 試行錯誤の出力**
  - ▶ 知覚入力の客観的深化 → 観察
  - ▶ 観察を活かした出力 → メディア化
- ▶ 表現者たちの観察と試行錯誤を知る
  - ▶ メディア史を知覚と観察の視点から見直す
  - ▶ **個から外界へつなぐメディア表現とは**

# 観察の変遷1 - 原始キリスト教

- ▶ 有力者や宗教が社会規範の時代
- ▶ **目的が前提にある観察**
  - ▶ 宗教的な視点に集中
  - ▶ **非写実性の需要**：神の不変性を示す
- ▶ 社会規範強化のために観察を活用

## 関連キーワード

- プラトン, イデア論
- アリストテレス, フィロソフィア
- アレクサンドロス3世, ヘレニズム文化
- ギリシャ, オリエント, ペルシャ文化の混交
- キリスト教のローマ国教化
- ビザンティン文化, ビザンティン美術
- イコン



# 観察の変遷2 - アッバース朝

- ▶ 知識人の他分野交流・協働の時代
- ▶ **伝達・記録のための観察**
  - ▶ **学問的要求**：星の記録や書物の挿絵
- ▶ 事象の客観的記録を残す
  - ▶ 知覚入力のディテールは求められていない

## 関連キーワード

- イスラム教の誕生, ウンマ, ウラマー, スーフィー
- 製紙技術の獲得, タラス河畔の戦い
- イスラム科学, イスラム大翻訳時代
- 知恵の館, アリストテレス哲学, 弁証法, 解釈学
- ブラフマーグプタ, フワーリズミー
- バビロニア数学, インド数学
- バビロニア天文学
- ミニアチュール(細密装飾絵画)



# 観察の変遷3 - ルネサンス前夜

- ▶ イスラム文化と欧州文化の連携の時代
- ▶ 知覚した**観察**特徴に注目
  - ▶ 空間認識, 数学の活用など
- ▶ 現実空間の素朴な**観察**
  - ▶ 知覚認識に基づいた外界の客観的把握

## 関連キーワード

- 欧州大翻訳時代, トレド, パレルモ
- スコラ哲学, トマス・アキナス
- チマブーエ, ジオット
- マゾリーノ, マザッジオ
- 空間認識, 一点透視図法, 代数学, 幾何学
- 「貢の銭」

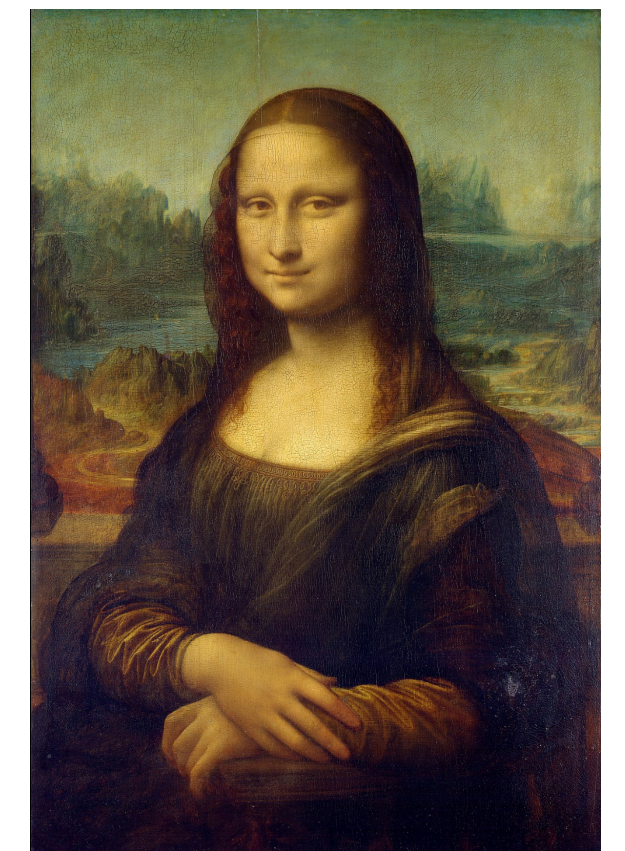


# 観察の変遷4 - イルネサンス前後

- ▶ 異文化の価値観獲得と混交の時代
- ▶ **観察の重要性の確立**
  - ▶ 知覚を研ぎ澄まし，観察を深化
  - ▶ 観察を活かした表現の模索
- ▶ **知覚の純粹な追求**
  - ▶ 知覚入力と表現出力の緻密な追い込み

## 関連キーワード

- ブルネレスキ, 花の聖母寺, クーポラ
- グーテンベルク, 活版印刷技術
- ビザンティン帝国の滅亡
- コジモ・デ・メディチ, アカデミア・プラトニカ
- レオナルド・ダ・ヴィンチ, 「モナリザ」
- スフマート技法, 空気遠近法
- ヴァザーリ, 「列伝」
- ディセーニョ
- 宗教改革



# 観察の変遷5 - 科学発展期と主客

- ▶ 個人の思考(主観)が勃興する時代
- ▶ **観察の合理性と主観のせめぎ合い**
  - ▶ 観察重視の表現 vs 観察後の感性の表現
- ▶ **観察と表現は客観か主観か？**
  - ▶ 知覚が認識を通す限り主観から逃れられない
  - ▶ 知覚で共有できる外界認識の客観性は？

## 関連キーワード

- バロック期,カラバッチョ,「聖マタイの召命」,ルーベンス
- 新古典主義, アングル
- ロマン主義, ドラクロワ
- フェルメール, カメラオブスキュラ
- 近代科学, コペルニクス, ガリレイ, ニュートン
- デカルト, カント, ヘーゲル, 存在論と認識論
- オイラー, ラグランジュ, ラプラス, ガウス, ポアソン
- トーマス・クーン



# 観察の変遷6 - 万博・大量生産時代

- ▶ 世界交流と近代技術進歩の時代
- ▶ **技術進歩や異文化混交で観察**も広がりを見せる
  - ▶ 印象派：時間変化の観察の発生
  - ▶ 工業化：観察の意義と価値
- ▶ **観察, 技術, 主客と表現の関係**の議論

## 関連キーワード

- パリ万博, ジャポニズム
- 写実主義, クールベ, 個展
- 印象派, モネ, チューブ絵具, キャンバス油彩
- アーツアンドクラフツ運動, モリス
- 新印象主義, スーラ, シニャック
- フォビズム, マティス
- 色彩理論, シュヴルール

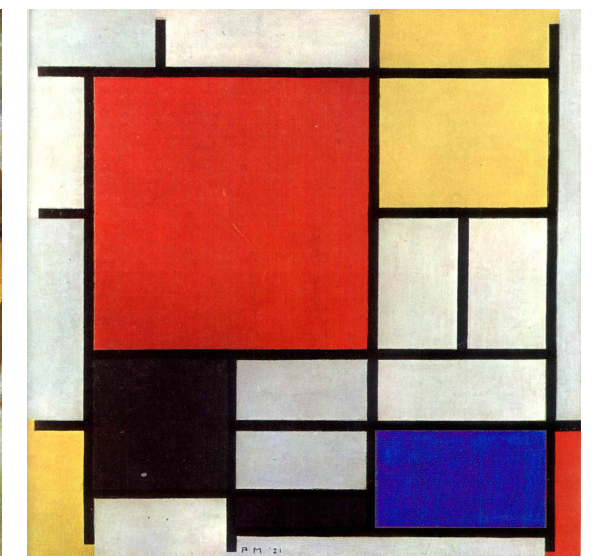
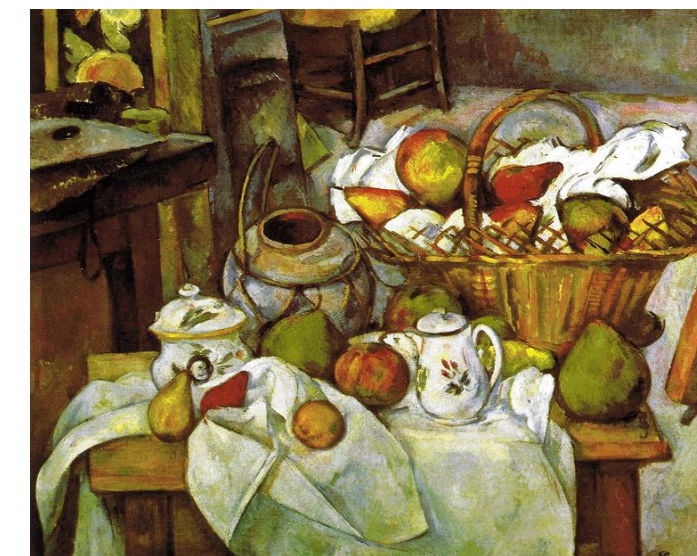


# 観察の変遷7 - 20世紀社会と美術

- ▶ 近現代社会における表現の再定義の時代
- ▶ **観察を社会に活用する時代**
  - ▶ 観察はメディア化や社会実装の基盤へ
  - ▶ 表現者は観察した先を志向するように
- ▶ **観察の先にある本物・普遍性を模索**

## 関連キーワード

- アール・ヌーヴォー, アール・デコ
- ポスト印象派, セザンヌ, 多視点表現
- キュビズム, ピカソ, ブラック
- 新造形主義, モンドリアン, 抽象画
- バウハウス, デッサウ, グロピウス, イッテン, カンディンスキー, クレー, アルバース
- プラトン, アリストテレス, 存在論
- ベンヤミン, アドルノ
- メイヤスー, 思弁的実在論
- ガブリエル, 新実在論



# 思考は知覚の捉え方を変え、表現を変える

- ▶ **思考の変化・観察の変化・表現の変化**
  - ▶ 古代：記録の道具
  - ▶ 中世：知覚と観察の理解と深化
  - ▶ 近代：観察の認識や主観客観の議論
  - ▶ 現代：観察のその先の思索

# メディアApp開発5 - 触れて伝わるAppへの改善

## ▶ Appをメディア表現物として磨く

- ▶ Appを価値を伝えるメディアになり得る
- ▶ Appからの知覚体験によって、価値の伝わり方が大きく変わる
- ▶ 伝わりやすい表現を模索するため、深い観察が肝要

## ▶ 実践

- ▶ 作ったものを観察・点検する (セルフチェック)
- ▶ 実装した仕組みにうまくつながれるか確認する (インタフェイス)
- ▶ 他者に触れてもらい評価を得る (レビュー)
- ▶ 伝わりにくさを見つけ、知覚を再設計する

# 本日の談義・考察一助

- a. 観察は他者と共有できるのだろうか
- b. 観察を活かして出力をメディア化する場合, 課題はなんだろうか
- c. 現代の実務において我々が知覚や観察を活かすシーンはどこか
- d. 上記に限らず, 自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

# 次回予定

- ▶ **美術思想史2：美の諸説 - 表現者の追うもの**

# 参考文献

1. 井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
2. 高階 秀爾, 「ルネッサンスの光と闇」, 中公文庫, 1987
3. 井上 浩一, 「生き残った帝国 ビザンティン」, 講談社文庫, 2008
4. 伊東 俊太郎, 「十二世紀ルネサンス」, 講談社学術文庫, 2006
5. 徳善 義和, 「マルティン・ルター - ことばに生きた改革者」, 岩波新書, 2012
6. ハーヨ・デュヒティング, 「ジョルジュ・スーラ 1859-1891 点に要約された絵画」, タッシュンジャパン, 2000
7. ポーラ美術館学芸部 「色彩の瞬き スーラの点描主義からマティスのフォーヴィスムまで」, ポーラ美術館, 2004
8. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
9. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. 東 浩紀, 「動物化するポストモダン」, 講談社現代新書, 2001